

## 目指す児童像

「竹のようにしなやかで、ゴムまりのように弾力のある子に」

雪をたくさんのせている竹は、大きくしななって、決して折れません。そしてこの雪が解けて春になるのをじっとまっているのです。そして春になり、積もっていた雪が解けると、竹は勢いよく雪を弾き飛ばし、何事もなかったかのように枝を張ります。

ゴムまりを想像してみてください。どんなに重い脚で踏みつけられても、思い切り蹴飛ばされても、少しの事では破裂しないでポンポンポンとはずんで、またもとのゴムまりにもどっています。

子供たちもこの竹のように、このゴムまりのように、勉強や運動をコツコツと我慢強く、粘り強く、何度でもチャレンジし、がんばれる「強い心」。少しくらいつらいことや、悲しいことがあっても、竹のようにピョーンと空にむかって、飛び上がれる「元気な心」、周りのお友達のことを思いやったり、相手を許すことのできる「しなやかな心」をもった児童に育てたいと考えています。

4月、新しい学年が始まります。コロナ禍はつづくでしょう。この先どんなことが起きるか分からないなか、成田小学校の子ども全員が力を合わせて、乗り越えていっていけるよう、職員一同、全力で支援していきます。

そして、しなやかな竹や弾力のあるゴムまりのような、「強い心」「元気な心」「しなやかな心」

をもった人になれるよう、全身全霊で子どもたちを育ててまいります。

是非、ご理解・ご協力のほど、何卒よろしく願いいたします。

校長 新井 麻起